

六月定例会



教育に生かす 6月22日(水)大湊の安渡館にて、6月定例会を開催いたしました。今回は、下北地域県民局地域健康福祉部 むつ保健所保健総室長の平紅先生をお招きし、喫煙を通じて青少年に対し、我々大人はどのように接していくべきかをご講演いただきました。今回は、ご講演いただく前に、メンバーがそれぞれ3人1組となり、大人役・子供役・書記に分かれ、ロールプレイングを実施しました。将来、子供たちに「なぜ大人はタバコを吸うのか?」と言われた時に、「大人だから良いんだ!」という、あいまいで、逃げの教育をするのではなく、子どもたちに対して論理的に答えることが大切だということを知りました。平先生、本当にありがとうございました。

喫煙の知識を

青少年育成委員会 委員長 尾崎 幸



今年度、立花理事長が掲げる「JAYCEEとしての更なる進化」を念頭に、日本JC推奨プログラム・葛西ヘッドトレーナー(弘前JC)によるJCゲームを開催致しました。

ゲームを通じてJC活動を疑似体験することにより、新入会員は組織やJC運動の流れ、JCの基本など、さまざまな気付きを得たと思います。現役メンバーは、一人では何もできない事・皆が同じ方向を向き、力を合わせる事の大切さなど、さまざまな角度から気付きを得たと幸いです。

私は思います。青年会議所には自分を成長させてくれる要素が沢山あります。何かを待っていても成長は出来ません。自分から率先し考動を起こさなければ、何も得られない団体です。理事長所信にも掲げられている「青年会議所会員は、より良い成長と変化を能動的に創りだしていく組織」であります。我々責任世代が、この地域に必要とされる人財・団体であると自覚して日々の活動を展開して行きましょう。

JAYCEE育成委員会 委員長 道川 貞徳



七月定例会

まちづくりのできる人づくり研修プログラム

会津青年会議所65周年と青年会議所的・姉妹都市交流について



東日本大震災から5年。あつという間だった感覚もあれば、福島の大太平洋側などの現状を見るに随分と時間が経ったという実感が、年々自分がどんな活動をしてきたのかを痛烈に思い起こさせる。JC活動を続けていると、京都会議、横浜サマコン、全国大会など、その年を象徴する事業等の参加で時の流れを遡る事ができ、また在籍年数が長ければ長いほど、多少のJAYCEEとしての意識があれば想像以上に重く印象に残ることになる。勿論、日本青年会議所事業だけでなく各地青年会議所の周年もまた、組織としての節目の捉え方が色濃く現われ、それに参加する者の意識変革、時の流れの実感、歴史の重み、その意味をどう捉え、どう表現するのかなど、どんな内容であれ活動事業とまた違った気付きを得ることができる。勿論参加する事によってだが、それが姉妹JCであれば尚更である。

遡る事、震災の年が会津JCの60周年であり、自分自身、メンバーと先輩数名で会津の地まで足を運んだ。当時の理事長、宮森氏やその他会津メンバーとは公私共々、未だに個人での交流が続いている上、この度の65周年はその弟殿が理事長ということで、それもまた足を運ぶ要因となった。

意味のある地域間交流

6月25日(土)、当時の思い出が呼び起され感慨に浸れたと同時に、共に参加したむつJCの仲間らと、遠く離れた会津の地において、同じ時間を共有できた事が何よりも収穫だった。記念式典と祝賀会、願わくば参加したむつJCの仲間達にとって、姉妹JCという存在の意義と地域間交流の意味を考えると、解釈は色々あると思うが駆け引きや利害関係、社交辞令的要素が排除された上での、互いに利益が生まれる「意味のある地域間交流」に可能性を感じていただければ幸いです。



また青年会議所は検証し継続出来る団体・組織である。周年を一つの節目、区切りとして次の年へ歩みを進める手法、組織改革というものを、様々な事業・式典などの参加を通し、それぞれ実践していただければと思います。



それにしても会津の歓迎はいつも強烈である。いつかは同等の立場まで登り詰め、やり返してやりたい、そんな淡い野望(笑)。

むつJCのレジェンドでありアイコン 顧問 坂本 大助

OB親睦会



6月14日(火)、OB会主催の現役メンバーとの親睦会が行われ、参加させていただきました。入会して4年となりますが、まだまだ初めてお会いする先輩も多く、為になるお話も沢山いただきました。

今年は菊田広志先輩が還暦を迎えられるということで、そのお祝いも行われ、例年以上に賑やかな交流会となりました。

むつ市実業界の第一線で、活躍されてきた先輩との交流は、仕事の面で大変貴重な経験でもあり、JCマンとしての心意気を学ぶ場としても、大切にしていきたいと感じております。

総務情報委員会 委員長 井本 貴之

副理'S VOICE



今年度私は地域活性化委員会の副理事長を務めてさせて頂いております。当委員会は来る8月19日(金)に開催されます、第32回みこし祭りを担当します。むつ青年会議所二大事業の一つ目でありますこのみこし祭りを成功させるため、約半年の準備期間を経て協議を重ね本番へ臨みます。

協議を重ねていく間には、頭で考えている通りに事が運ばないことや、うまく立ちゆかないことが出てきますが、その都度一つ一つ話し合い解決へ導いてまいります。各参加団体、ご来賓の皆様にも失礼のないよう担当副理事長という立場ではございますが、委員長、副委員長、委員、役職関係なく誰一人欠けることなくチーム一丸となり取り組んでおります。

2016年度も中間を過ぎましたが、事業一つ一つを大事にし実施出来ればと考えております、宜しくお願い致します。

地域活性化委員会 担当副理事長 山道 直寿